

非住宅用でCAD/CAMプレカットPR

構造計算、BIMに関心

ネットイーグル

ネットイーグル（福岡市、祖父江久好社長）は、1、2の両日にインテックス大阪（大阪市）で開催された非住宅木造建築フェア2023に出展し、同社のシステムを使ったCAD/CAMプレカットをPRした。昨年に次いで2回目で、5月の東京会場に続く参加となり、既存の取引先を含め、ゼネコンや設計事務所約70社と商談した。

同社は、非住宅中大
型木造建築向けプレカ
ットCADとして「XF
F15」と2×4工法向
けの「XF24」、連携
システムのCLT・C
AD、羽柄／合板CA
D、BIMインターフ
ーム「NSC15」で、

エイス、構造計算シ
ステムなどを持つ。

今回特にアピールし
たのは、2000平方
メートル以上の物件にも面積
制限なく対応できる自
社開発の構造計算シス
テム「NSC15」で、

会場では2台の大型モ
ニタを使って、CAD
の入力画面でコマンド



ネットイーグルの出展ブース

を切り替え、チェック
を実行すると日本住宅
・木材技術センターの
「木造軸組住宅の許容
応力度設計」（グレー
本）に準拠した構造計
算結果がわずか数秒で
出せること、構造計算
から加工まで齟齬なく
データが流れ、再入力

の手間なく
効率的にプ
レカットで
きることな
どを説明し
た。

来場者か
らはBIM
対応への関
心も高かつ
たという。
同社は、プ
レカットC
ADで作成
した構造デ

ータをオートデスクの
BIMソフト「Rev
it（レビット）」で
読み込むためのインタ
ーフェイスを開発して
おり、これを使えば「X
F15」や「XF24」、木
造軸組・金物工法プレ

カットCAD「XST
AR」で作成した構造
データをBIMデータ
として利用できる。
松井良紀営業部長は
「初めて参加した昨年
はPRも手探りだった
が、東京会場を含めて

数をこなすうちに来場
者の目的に合わせて説
明できるようになって
きた。非住宅木造プレ
カットの認知度向上
と、非住宅木造の裾野
の拡大に少しでも貢献
できれば」と話した。